

天高く 馬肥ゆる秋！

「天高く馬肥ゆる秋」という言葉は、「なあんだ、簡単なことわざじゃないか」と思うかもしれませんが、案外このことわざの由来は知らない人も多いようなので、取り上げてみましょう。現在では、このことわざの意味は、秋は天気も良く、馬も太るようないい季節だという意味で使われていますが、もとは中国で使われ始めたことばです。紀元前の中国の北の方には、匈奴(きょうど)という、現在のモンゴル族の人たちが住んでいました。(トルコ族の一派という説もあります。) 彼らの住む北では冬の寒さがきびしく、冬の間は



まったく食料がとれませんでした。そのため、秋の終わりごろになると毎年、中国に馬に乗って攻めてきては食料を盗んでいったのです。春から夏にかけては、匈奴の馬は青々と茂った草などを十分食べて、秋になった頃には立派に太った馬になっており、その馬に乗って毎年中国に攻めてくることから、中国の人たちは秋になると、「もう実りの秋になったので、匈奴がよく太った馬に乗ってやってくるから気をつけよう。」と言うようになったのです。つまり、のんびりと「いい季節だ」などと言っていたわけではないのです。ただし、現在では「馬も太るいい季節」という意味で使っても、間違いにはなりません。ちなみに、中国には万里の長城という、延々とつづく長い城壁が遠い昔に作られ、現在もありませんが、この万里の長城も当初は、匈奴が攻めてくるのを防ぐために作られたものです。

～ 11月の進路データ～

挫折そうになったときに思い出す言葉

- ◆人間は誰も気付いていないだけで、計り知れない潜在能力を秘めている。
- ◆人は人、自分は自分。比べた時点で負けてる。自分に負けない強さが、どんな壁をも壊していく！
- ◆自分の限界は自分で決める!!
- ◆『なんじ草木と同じく朽ちんと欲するか』 頼山陽
- ◆あたしならまだやれるはずだって YUI/My generation より
- ◆笑顔の多い日ばかりじゃない。
- ◆やればできる！(高2, 3年の担任との合い言葉)
- ◆努力は不可能を可能にする。
- ◆失敗した、失敗した、また失敗した。だから成功する。無理だと笑うやつを笑え。



河合塾生徒アンケート結果 Success Mail 2010より引用

「フリーター」？ ←← やめよう 安易な選択

【メリット】

- ① 休みが取りやすい
- ② 時間の融通がきく・精神的に楽
- ③ いろいろな仕事が経験できる
- ④ 人間関係が楽
- ⑤ 残業がない

【デメリット】

- ① いざというときの保証がない
- ② 病気の時収入がなくて困る
- ③ 生活が安定しない
- ④ 将来に不安がある
- ⑤ 仕事の割に収入が低い
- ⑥ 現在の生活から抜けられない

【外部からの評価】

- ① 根気がなさそう
- ② 責任感がなさそう
- ③ 組織になじめない?
- ④ 職業観の再教育が必要
- ⑤ 人物像がつかみにくい
- ⑥ 年齢相応の技能意識がない

これは本当にメリットなのか？
企業がフリーターを採用するか否かについては、この経験をマイナス評価するところが少なくない。新卒でさえ厳しい就職戦線。積極的にフリーターを採用する企業は少ないのが現状です。

☆☆ 勇気の出ることば ☆☆☆



目標だけを見るようにしなさい。
そうすれば、あなたに障害なんて関係ありません。

ヘンリー・フォード (アメリカ・企業家)



「お仕事ハッケン」

流行を作り出す服飾のアーティスト

ファッションデザイナー

ブランドイメージやニーズを適確に捉え、洋服をデザインする仕事です。イメージをデザイン画に起こすところまでが主な仕事領域です。

どんなお仕事？



オリジナルのデザインを創作するオートクチュールデザイナーと、アパレルメーカーなどで大量生産の既製服のデザインを行う企業内デザイナーに分けられます。スタイルや色彩などを考慮し、デザイン画を起こすことが主な仕事です。洋服の裁断手法、布の特性、色の種類、素材等の知識が必要です。

* ::-----.*: .:*: .:。.:。*: .:*: .:。.:。*: .:*: .:。.:。*-----:*

センパイからのメッセージ

ブランド「ディックブルーワー」の商品企画・デザインを担当しています。このブランドでは、サーファーを含め、海を愛する20代～30代の女性に、洋服を雑貨感覚で楽しんでほしいですね。1シーズンが終わると、必ず街にでます。このブランドのターゲットの女性にキャッチーなデザインのアイデアを求めて、渋谷や原宿を何時間もうろろするんです。これはとても大切。服作りは、お店から要望を吸い上げてきた営業さんとのミーティングから始まりですが、ブランドとして何を打ち出すか、女性に何が流行りそうかを提案するのは、私の仕事ですから。

* ::-----.*: .:*: .:。.:。*: .:*: .:。.:。*: .:*: .:。.:。*-----:*

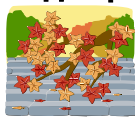
～11月の進路行事～

6(土) 進研模試(3年)(～7まで)
11(木) 授業参観代休日
17(水) 専門高校フェスタ
19(金) 豊穰祭(農ク)
30(火) 期末考査

10(水) 30km完走歩大会
13(土) 授業参観・農産物販売会・3年生内定者集会
18(木) 1・2年生対象地元企業高校内説明会
20(土) サタゼミ⑩



☆☆☆ 勇気の出ることば ☆☆☆



自分にできないと考えている間は、
本当はそれをやりたくないと言っているのだ。
だから、それは実行されはしない。

パルーフ・デ・スピノザ(オランダ・哲学者)

【進路雑想(編集後記)】

先日、高校生のための就職面接会に生徒(13名)とともに参加してきました。今回は、例年よりかなり増加し800名を超える参加者で、会場はかなり混雑していました。あまりの人の多さに「人酔い」しそうになりました。この面接会に参加している生徒たちを見ながら感じました。彼らは、どこにでもいるような普通の高校生です。むしろ挨拶や服装などの所作をみると、よい子たちの方が多いのです。こんな高校生までが就職難に喘いでいるという現実を実感しました。求人件数は少なく、やっと見つけた希望職種は、多くの応募者が集中し、競争が激化しています。いまは、将来に向けて楽観的な夢や希望を持ちにくくなっていますが、郷土の偉人の西郷隆盛も「苦しいときこそ踏ん張れ」と言っています。最後まであきらめない気持ち・姿勢が大切です。この時代を乗り切り、新しい展望を開きましょう。



(文責：前田)



「薩摩の教え」というものがあります。

一つは、郷中教育のなかで、年長者は年少者を指導すること、年少者は年長者を尊敬すること、さらに、

負けるな 嘘をつくな 弱いものをいじめるな

ということなどを、人として生きていくために最も必要なこととして教えました。

もう一つは、「人の川順序」について、以下のように評価していました。

- 一、何かに挑戦し、成功した人
- 二、何かに挑戦し、失敗した人
- 三、自分では挑戦していないが、挑戦する人を手助けした人
- 四、何もしない人
- 五、何もしない上に、他人の批判だけする人



という感じです。ポイントは2つ、

- 1) 何かに挑戦することによって価値がある。
- 2) 他人の批判をするということは価値を下げる。

ということだと思います。

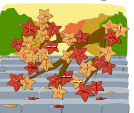
挑戦する内容は、人それぞれであってよいと思います。成功の内容も、そうですね。何かに挑戦する人に会うとよい刺激を受けます。面白いという気分になります。2年生、学校の中堅として失敗を恐れずに何かに挑戦したいものですね。

~ 11月の進路行事 ~

6(土) 進研模試(3年)(~7まで)	10(水) 30km完走歩大会
11(木) 授業参観代休日	13(土) 授業参観・農産物販売会・3年生内定者集会
17(水) 専門高校フェスタ	18(木) 1・2年生対象地元企業高校内説明会
19(金) 豊穰祭(農ク)	20(土) サタゼミ⑩
30(火) 期末考査	



☆☆☆ 勇気の出ることば ☆☆☆



自分にできないと考えている間は、
 本当はそれをやりたくないと心に決めているのだ。
 だから、それは実行されはしない。

バールーフ・デ・スピノザ(オランダ・哲学者)

【進路雑想(編集後記)】

先日、高校生のための就職面接会に生徒(13名)とともに参加してきました。今回は、例年よりかなり増加し800名を超える参加者で、会場はかなり混雑していました。あまりの人の多さに「人酔い」しそうになりました。この面接会に参加している生徒たちを見ながら感じたことは、彼らは、どこにでもいるような普通の高校生です。むしろ挨拶や服装などの所作をみると、よい子たちの方が多いのです。こんな高校生までが就職難に喘いでいるという現実を実感しました。求人件数は少なく、やっと見つけた希望職種は、多くの応募者が集中し、競争が激化しています。いまは、将来に向けて楽観的な夢や希望を持ちにくくなっていますが、郷土の偉人の西郷隆盛も「苦しいときこそ踏ん張れ」と言っています。最後まであきらめない気持ち・姿勢が大切です。この時代を乗り切り、新しい展望を開きましょう。



(文責：前田)



仕事のできる人

＝視野を広げられる人＝人間の器が大きい人

<人間の器が大きい人とは>

人間の器が大きいと感じさせる人がいます。次のような感じの人物です。「少々のことでは驚かない。騒がない。小さなことは気にしない。少々のは許す度量を持つ。そして、スケールの大きさを感じさせる発言ができる。」誰だってこのような人物になりたいと思うのではないのでしょうか。それでは、どのようにしたら良いのでしょうか？ それには物事を広い視野から見ることでできる人物になることです。今よりも、広い視野で物事を考える癖を付けることです。

<一つ大きな枠組みからそれを見るようにする>

逆に、器が小さいと思わせるような言動を取ってしまうのは何故でしょうか。小さなことなのに大騒ぎをしてしまうような場合です。その理由は、そのことだけを考えてしまっているからです。それよりも一つ大きな枠組みから見れば、そのことは部分的な話でしか過ぎないはずで、つまり、器が大きいと思わせるような言動を取ろうと思えば、全体からそれを見るようにすれば良いわけです。そうすると、これまで見えなかったモノが見えてくるようになります。例えば、商品の話が戦略の話に、仕事のミスの話が教育やマニュアルの話になるといったように。そして、大局から見たような、周りが「おっ、凄いなこいつは」と思わせるような考え方や言動を取れるようになります。「視野を広げられる人＝人間の器が大きい人」なのです。

<具体的なやり方>

何か悪いことが起こったときや、話を聞いてしまったとき。つい、こんなふうに思ってしまう。「何やってんだ!」、あるいは、「いけない、失敗してしまった!」などと。そんなとき、「いや待てよ」といった感じで、意識的に一步後ろに引いて、視野を広げて考えて見ます。ここが大切です。そして、例えば、次のようなことを考えます。

「全体から見たら、この部分は・・・。」

「こいつの今後のことを考えれば、この位のことは・・・。」

「ここでの被害だったら、影響するのは・・・。」

大切なことは、最初に思った自分の考えを一旦置いておき、意識的に一步後ろに引いて、視野を広げて考え直してみることです。そうすると、少々のことでは驚かない。騒がない。小さなことは気にしない。少々のは許す度量がある。そして、スケールの大きさを感じさせる発言ができるようになります。

<まずは意識することから始める>

人間、何事も意識してそれをやっければ、そのうち無意識にそれをやれるようになります。癖や習慣といったものとして。考え方もその例外ではありません。「仕事上の癖だから、自然とそうなるんだよ」とたとえ本人がそう答えたとしても、それは、その仕事が必要なノウハウを意識的に身に付けていった結果のことだと思います。例えば、経営コンサルタントが理屈っぽくなるように。会計士や経理担当の人が、お金に細かくなるように。人間の器を大きくするためのことを意識してやっければ、それが徐々に身に付いていき、やがて自分のものにすることができるようになります。

～ 11月の進路行事～

- 6(土) 進研模試(3年)(～7まで)
- 11(木) 授業参観代休日
- 17(水) 専門高校フェスタ
- 19(金) 豊穰祭(農ク)
- 30(火) 期末考査

- 10(水) 30km完走歩大会
- 13(土) 授業参観・農産物販売会・3年生内定者集会
- 18(木) 1・2年生対象地元企業高校内説明会
- 20(土) サタゼミ⑩



☆☆☆ 勇気の出ることば ☆☆☆



自分にできないと考えている間は、
本当はそれをやりたくないと心に決めているのだ。
だから、それは実行されはしない。

バルーフ・デ・スピノザ(オランダ・哲学者)

【進路雑想(編集後記)】

先日、高校生のための就職面接会に生徒(13名)とともに参加してきました。今回は、例年よりかなり増加し800名を超える参加者で、会場はかなり混雑していました。あまりの人の多さに「人酔い」しそうになりました。この面接会に参加している生徒たちを見ながら感じたことは、彼らは、どこにでもいるような普通の高校生です。むしろ挨拶や服装などの所作を見ると、よい子たちの方が多いです。こんな高校生までが就職難に喘いでいるという現実を実感しました。求人件数は少なく、やっと見つけた希望職種は、多くの応募者が集中し、競争が激化しています。いまは、将来に向けて楽観的な夢や希望を持ちにくくなっていますが、郷土の偉人の西郷隆盛も「苦しいときこそ踏ん張れ」と言っています。最後まであきらめない気持ち・姿勢が大切です。この時代を乗り切り、新しい展望を開きましょう。



(文責:前田)